

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

西会津町へ行ってきました！！



大宜味村・西会津町「体験の翼」冬季交流（2月9日～12日）

夏季交流より児童3名が追加となり、大宜味小6年生全員で参加することができた今回の冬季交流。児童達は1月から計5回の事前学習会に参加し、交流の心構えや村青年会の指導によるエイサー練習に熱心に取り組み冬季交流を心待ちにしていました。

初日は朝早くからの出発式に参加し、そこからバス、飛行機、新幹線等の移動で西会津町に着く頃には児童達に疲れも見えましたが、西会津町児童との久しぶりの再開に疲れを忘れ大喜びしていました。2日目は鶴ヶ城（会津若松市）見学や、午後は雪の積もっている場所に移動して雪遊び（雪合戦、雪ソリ、雪だるま作り等）を楽しみ、雪国ならではの体験をすることができ、3日目の雪国まつりでは児童達によるエイサーを会場で堂々と披露し会場内を盛り上げました。また、この日の昼食後には西会津町とのお別れ式を行い、別れを惜しみながら東京へ移動し、翌日の12日（日）に児童達はお土産と一緒に、沖縄とは違う沢山の貴重な経験を大宜味村へ持ち帰りました。

西会津町との大切な出会い、そして西会津で過ごしたこの貴重な経験が児童のみなさんにとって将来の糧となり、今後の活躍を期待しております。



人生が夢を作るんじゃない 夢が人生を作るんだ
大宜味中3年生を手づくりプレゼントで応援



2月16日（金）、大宜味中学校3年生に「大宜味中学校3年生義友クラスを応援する会」から、高校受験に向けて頑張る3年生にサプライズプレゼントが手渡されました。

日常が戻りつつあるものの、小学生の時から行事や学校生活で自粛や制限を余儀なくされた今年の3年生。その中でも元気で周りを盛り上げてくれた3年生たちも春にはそれぞれの夢に向かって高校受験に挑みます。そんな3年生たちの頑張りに後押ししたいと、今年も大宜味村社会福祉協議会の島袋経子さんが発起人となり、役場の同志や大宜味村民生委員・児童委員協議会（平良政代会長）などが集まり「大宜味中学校3年生義友クラスを応援する会」を結成、準備を進めてきました。

サプライズプレゼントの中身は大宜味シーちゃんクッキー（金城朋美さん）、シークワサーゼリー（松本安子さん）、ケーキといちご（島袋緒佐さん）、チカラムーチャー（宮城みゆきさん）、受験にきっと勝つという願いが込められたキットカットと応援メッセージ（大宜味村民生委員・児童委員協議会）でどの品もみんなの気持ちが込められた一品。一人一人の名前が書かれたネームプレートも新城あゆみさんの手作りです。

民生委員会長の政代さんは「みなさんは大宜味村の宝。いよいよ受験も迫ってきた頃。目標に向かって頑張って」と激励しました。

プレゼントを受け取り島袋恭輔さんは「卒業まであと20日。今日もらったプレゼントを力に変えて頑張りたい」と感謝しました。

応援隊だけでなく、村民みんなが応援しています！夢に向かって頑張れ！！3年生！！

野球しようぜ！大谷翔平選手グローブ贈呈

2月8日（木）、大宜味小学校において大谷翔平選手グローブ贈呈式が行われました。

昨年11月に全国の小学校にあわせておよそ6万個のグローブを寄贈することを自身のSNSで発表していた大谷選手。大宜味小にも右利き用2つ（大・小）、左利き用1つが届き、この日みんなの前でお披露目となりました。

宮城政信教育長は「このグローブが私たちの次の世代に夢を与え勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます。野球しようぜ」と書かれた大谷選手のメッセージが読み上げ、児童会役員にグローブを手渡しました。続いて政信教育長から「将来の夢や希望」についてお話があり、政信教育長は「夢は変わってもいい」、「夢を持つことに意味がある」と伝えました。

お話の後にはキャッチボールのデモンストレーション。グローブをはめ、感触を体験した4年生の平良颯さんは「カッコイイ」と喜びました。このグローブは休み時間や学級の時間で使われていく予定です。



最初から最後まで自分たちの力で、令和5年度わんぱく体験団⑥「カーサームーチャー&修了式」

1月27日（土）、大宜味村農村環境改善センターにおいて令和5年度わんぱく体験団⑥「カーサームーチャー&修了式」が行われました。

旧暦12月8日（今年は1月18日）はムーチャーの日。少し過ぎてしまったけれど、全然ムーチャーピーサーじゃないけれど、体験してみよう！イチから作るカーサームーチャー。今回はわんぱくたちのためにスペシャル講師が…

村老人クラブ連合会から寺田光枝さん、平良宏さん、稲福吉昭さん、新城寛成さんが来てくれました！！

先輩たちから学ぼう、イチから作るムーチャーづくり。そうです。わんぱくなので、用意されたもので調理するなんてありません。ムーチャーづくりで時間を要し、手のかかる葉の採集からが今回の活動です。

それでは早速、葉っぱ取りに出発進行！喜如嘉の山城克子さんの畑でサンニンと、芭蕉布保存会のパショウ畑からはパショウの葉を採集します！



大量に収穫したサンニン。次はハサミで茎から外します。葉っぱが破れてしまうとモチが包めなくなるので丁寧に作業します。次はムーチャーに入れるイモを洗って茹でます。それが終われば今度は葉を洗います。虫がついていることもあるので丁寧に洗ってきれいに拭きます。やることはたくさん。大忙しです。



イモが炊けたら皮をむいて潰してもち粉、さとうと混ぜ合わせます。ポイントはよくこねること。こねればこねるほどおいしくなります。目標は耳たぶくらいの硬さです。納得いくまでこねられたら次はもちを葉っぱで包みます。適当な大きさにもちを丸めたら少し伸ばして葉の上に乗せ…。食べる時にはがしやすく、なおかつもちがこぼれないよう考えながら包みます。



もちを蒸している間に寺田さんに教えてもらったムーチャー取りゲーム（今回は紙コップで代用）をして盛り上がりました。

そしていよいよ実食。はらぺこのわんぱくたちは自分たちで作ったムーチャーを美味しく食べていました。頑張ったおかげでお土産もいっぱいです♪

この日は今年度最後のわんぱくということで、最後は修了式。一人一人に渡される修了証書。そして4名の皆勤賞も。今年度もみんなよく頑張りました！！



寄付

大宜味村育英会へ寄付金の贈呈がありました。
賜りました寄付金は大宜味村の子ども達を支え続けます。温かいご支援に深く感謝申し上げます。

平良 基 様 50,000 円 宮城 久 様 50,000 円

バスケしようぜ！ 第30回国頭地区教職員バスケットボール大会

2月17日（土）、大宜味小中学校体育館で第30回国頭地区教職員バスケットボール大会が開催されました。
コロナ禍で3年連続中止となり、昨年も午前午後の部分かれての開催でしたが、今年は21校と国頭教育事務所の22チーム、200名あまりが参加。一堂に会しての大会となりました。



教職員の健康増進、学校間の交流を図ることを目的に行われているこの大会は、50代以上の職員、またはバスケットボール未経験者の女子のゴールはプラス1点など大会独自のルールもあり、バスケットボール経験者、未経験者も楽しめるものとなっています。
各チーム5名選出のフリースロー大会も実施され、大会は大いに盛り上がりました。
テーブルオフィシャルには大宜味中学校と羽地中学校のバスケットボール部の部員が協力してくれました。
大会開催にあたり友寄景善村長は「職員の皆さんが心身共に和気あいあいとプレー（活動）する事で、子どもたちにも元気を与えると思う。行政としては皆さんが働きやすい職場のために協力していきたい。本大会のますますの発展を祈念します」と激励しました。
この日は能登半島地震に係る災害義援金の募金も行われ、琉球新報社を通じて被災地に送られています。

～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第1回 教育委員会会議 令和6年1月25日（木）午後2時 開催

＜審議事項＞

議案第1号 学校給食の額の変更について <<可決>>

図書室情報 No.55 2024年（令和6年）3月

大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）
大宜味村字大兼久 157 番地 0980-44-3009

大城貞俊氏より著書寄贈

村出身の大城貞俊氏より著書を寄贈いただきました。
新着図書棚にありますので、ぜひご覧ください♪

- 『ウマーク日記』 『この村で』
『蛍の川』 『ヌチガフウホテル』

お知らせ

3月図書室カレンダー 閉室日：

Calendar table showing dates from 3/3 to 3/31 with a closed day on 3/18-29.

3/18(月)～29(金)に蔵書点検を行います。通常通り貸出や閲覧等行いながら点検しますので、利用した本は必ずもとの場所に戻す等、ご協力をお願いいたします。

利用状況累計
○来室者数…のべ3,105人
○貸出冊数…5,325冊
○登録者数…170人
2月の統計(2/26まで)
○来室者数…のべ45人
○貸出冊数…125冊
現在の蔵書数…7075冊

家族と学ぼう！先輩の声を聞こう！ 小中日曜授業参観・教育講演会

2月4日（日）、大宜味小中学校において日曜授業参観・教育講演会が行われました。
授業参観では通常の授業の他、親子で一緒に作業するくぎ打ちや版画、昔遊びなどもあり各教科に積極的に参加する児童生徒の姿が見られました。



4校時は小学4年生～中学3年生と保護者、地域の方々を対象に辺土名高校3年生の上原蓬さんを講師に招いて「後輩たちへ」と題した講演会が行われました。
自己紹介から始まり、辺土名高校の特徴や自身が学校でしている活動、県外からきたクラスメイトと過ごして感じたこと、あらゆる活動を通してできたつながりや思いを話してくれました。蓬さんは後輩たちに向け「自分の話は一つの例であるけれど、進路を選ぶ時は『ここでいい』を『ここがいい』にできるくらい悩んで胸を張って言えるくらいにしてほしい、やりたいこと、そのために必要なものを考えて」と応援しました。
講演会終了後に行われたアンケートには「これからの高校について知ることができた」、「『あきらめないこと』と『ここでいいじゃなくてここがいい』で考えることがわかった」、「もっとちゃんと自分の高校のことを考えたり、やりたいことはどんどんチャレンジしていきたいと感じた」といった声があり、児童生徒、保護者に響く講演会となりました。

自分を守るため、正しい知識を身につけよう！ 名桜大学出前授業

2月6日（火）、大宜味中学校に名桜大学看護学科の思春期応援団「やんばるがんばるぴあまーる」の学生9名と担当教員の長嶺絵里子准教授と大浦早智助教を招き、『思春期健康教育』が行われました。

やんばるがんばるぴあまーるでは思春期ピアカウンセラーの資格を取った学生が性に関する正しい知識を中高生と一緒に考える活動を行っています。
この日の授業では学生が主導となり「思春期の体と心の変化」「ライフライン（未来の夢を描いてみよう）」「SNSの使い方」「プライベートパーツ」「心の変化」「性感染症のネットワーク」などについて、生徒とコミュニケーションを取りながらわかりやすく説明してくれました。

3年生の授業では思春期の体の変化や心の変化を教えてもらい、パートナーができたらどんな風につき合いたいか、どんな関わりがしたいかをグループで話し合い、生まれた時を50%の幸せ度数で表したそれぞれが思い描く自分のライフラインも書きました。また、性感染症の防ぎ方について簡単な劇でわかりやすく説明してくれました。

学生を代表してちゃこさんは「今日書いたライフラインは自分自身と向き合って書いたもの。振り返り、見つめなおしてほしいと伝えました。
授業を終え、3年生の前田明志さんは「ひとつひとつ丁寧に説明してくれたので話が分かりやすかった。グループ活動も盛り上がりより深く考える機会となった。今日話を聞いて自分の体を自分のために大切にしていきたいと思った」と話してくれました。
自分自身についてよく考えることができた授業となりました。





天野鍛助日記ヲ読ム1

天野鍛助（あまの かすけ）1883（明治16）年—1966（昭和41）年 饒波出身、旧姓金城（昭和23年天野に改姓）。師範学校卒業後、教職の道へ。1920（大正9）年、民選による最初の大宜味村長に就任、以降3期村長を務めたが、1931（昭和6）年の村政革新運動によって辞任。

在任中は沖縄で初となる鉄筋コンクリート造の村営質屋、役場庁舎の建設、電話架設、村育英会設立、鯉船組合設立、製脳（樟脳製造）事業、茶業、林業等の振興に力を入れ、大宜味村の基盤づくりに尽力した。

村長辞任後も村会議員、県議会議員として精力的に村政・県政に関わり、那覇における物産展に芭蕉、棕櫚、わらび細工等を出展、販路拡張に務める傍ら、県砂糖組合理事、県農会議員を兼ね、帝国農会議員など数々の重職も歴任。村長在職中から辞任後も変わらず産業、教育、地方自治面で活躍した。

天野鍛助日記とは…天野が明治の頃から80歳余で亡くなるまで書き記した日記で、行間からは二つの大戦を挟み近代化へと向かう社会の動きと、几帳面で勤勉な人柄が読み取れとても興味深い。また、1932（昭和7）年6月14日、村長辞任の翌15日には、「日中飲ム」の記述があり、人間天野鍛助の心情も赤裸々に綴られている。令和5年12月に金城功氏から寄贈されたものの中から、当時の村政や世相に関連する記述を紹介します。

一九二四（大正十三年）
 二月二十一日（木）組合議員佐馬道修繕工事視察ノタメ一同来村舟ニ迎ス
 三月十日（月）鯉船ノ連中ト飲ム酒一升五合饗ス
 四月二日（水）並川店ヨリセメント大樽二樽代十四円払フ
 五月二日（木）塩屋山製脳場ノ火入祝ニ付、酔払ツテ刳舟デ帰ル
 〃二三日（金）謝名城製脳場火入祝ニ付キ泥酔シテ帰ル
 七月二八日（月）増進丸役員会ヲ開ク、雄大丸株主会ヲ開ク、後チ旅館ニ行ツテ飲ム
 八月一日（月）助役収入役推薦認定ニ付ス、渡野喜屋、大保、上原行政区ヲ新設ス
 八月十二日（火）大宜味村柚山十年計画地ノ境界設定ノタメ登山
 一九三一（昭和六年）年
 一月一日（木）拝賀式ニ参列、親類縁者二三〇餘名ヲ招ジ生年祝ヲナス、縣内知友ニハ年賀状ヲ送ラズ琉球紙上ニ吏員一同挨拶ヲナス曰ク、殺人的不景氣ニ鑑ミ謹ミテ紙上ヲ以テ年頭ノ御挨拶申上候：
 二月十八日（旧一月二日）相思樹百本植栽ス、組合店、製茶工場、屠場ノ初起ヲナス：
 〃二六日（木）村医平良真順氏ヲ承認ス條件ハ他出ノ場合ハ代理医ヲ置クコト：
 三月十三日（金）知事来村ノ報ニ技手二人校長ト渡ノキヤヘ出迎ニ行ク：村ノ産業状況ヲ説明セシニ大ニ称賛サレ名護ニ泊ルヨリ大宜味ニ泊ル方ガヨカツタト後悔サル：
 四月十五日（水）県庁訪問、地方課長ト塩屋校増築費追加ノ件ヲ打合シ諒解サル：
 六月三十日（火）原山勝負差分式、牛、芭蕉布品評会ヲ催ス：村ノ財源ハ村有林ニ求ムルノ外ナシ、學校改築等ノ場合ハ立木ヲ處分セザレバ他ニ財源ナキヲ以テ村民ハ等シク愛山スベシ：
 一九三二（昭和七年）年
 三月十八日（金）大兼久津波ノ有志ト災害復旧工事ノ御願ヒノ為メ出覇、天久デ自動車ヲ泥中ニ陥レ十時頃漸ク那覇着
 六月十四日（火）村長辞任ス平和維持と後進ノ道ヲ開クタメニ辞任、後任ニ助役ヲ昇進セシメト訴フ、村議満場一致前田当選、前田ノ当選祝ニ行ク
 ※本年日記の見返しに大湾政正名の名刺が手作りのカバーと共に大切に挟まっていたとあり村政革新運動で追い詰められていた当時の鍛助へのエールだと思われる



村史編さんだより

第155号 2024年3月1日 大宜味村村史編纂係44-3009



大宜味村史編さん委員会を開催しました！



2月26日(月)、令和5年度 第1回 村史編纂委員会を開催しました。会議では、現在編集作業中の「通史編」の内容と作業の進捗状況の報告を行い、今後のスケジュールの確認、「資料編」専門部会設置について話し合いました。「資料編」専門部会委員選出については、「通史編」と同じメンバー構成でいきたいという事務局案の承認を得ましたので、「通史編」「資料編」ともに令和6年度発刊に向けて動いていく予定です。

2011年にスタートした村史編さん事業も、とうとうゴールが見えてきました。今まで村内外よりたくさんのご協力を得てこまめくることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

残り1年、発刊に向けて最後まで全力を尽くして駆け抜けます！残りわずかですが、引き続き村史編さん事業に対するご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

田港字誌 ラストスパート！

去った1月14日(日)に第8回田港字誌発行委員会が開催され、村史編さん係も参加させていただきました。

2018(平成5)年に動き出した田港字誌は、その直後に襲ったコロナ禍により作業が遅れていたものの、この度、その全体像が見えてきました。

同編集委員会では、これまでの経緯や現在の進捗状況、資金計画など、編集委員長の真喜志勇さんから丁寧な説明が行われ、資金調達という大きな課題も含めて、区民・郷友会が一丸となってゴールを目指すことを確認しました。ウングミの頃、大宜味村で10冊目となる田港字誌の誕生が期待されます。



寄贈資料の紹介

- 〇南方文化の探究（河村只雄／昭和14年）（金城清松蔵書）
- 〇工藝（柳宗悦／昭和16年）（金城清松蔵書）
- 〇化粧陶器（河井寛次郎／昭和23年）（金城清松蔵書）
- 〇續南方文化の探究 薩南・琉球の島々（河村只雄／発行：昭和17年）（金城清松蔵書）
- 〇私の念願（柳宗悦／昭和17年）（金城清松蔵書）
- 〇宮古島市史 第三巻 自然編 第I部 みやこの自然 別冊（宮古島市教育委員会／令和2年3月）
- 〇宮古島市史 第二巻 祭祀編（下）悉皆調査（城辺地区 上野地区 下地地区 伊良部地区 多良間村）（宮古島市教育委員会／令和3年3月）
- 〇宮古島市史 第三巻 自然編 第II部 みやこの自然と人（宮古島市教育委員会／令和5年3月）
- 〇宮古島市史資料8 佐良浜の祭祀歌謡—モトムラのオヨシを中心に—（宮古島市教育委員会／令和5年3月）
- 〇歴代宝案補遺編1 歴代寶案 校訂本第2冊（活字本）（沖縄県教育委員会／令和5年3月）
- 〇今帰仁村兼次誌（令和5年7月）
- 〇とみぐすく写真アーカイブ 1 豊見城、2 宜保、3 我那覇、4 名嘉地、5 田頭、6 瀬長、7 与根、8 伊良波、9 座安、10 渡橋名、11 上田、12 渡嘉敷、13 翁長、14 保栄茂、15 高嶺、16 平良、17 高安、18 饒波、19 金良、20 長堂、21 嘉敷、22 真玉橋、23 根差部、24 豊崎、25 豊西、26 真玉橋団地、27 高安台、28 タワーサイドハイツ（豊見城市教育委員会／令和3年～5年）
- 〇ためになる首里語ゆんたくふみんたく箱（JA 共済連沖縄／令和5年5月）
- 〇『第35回平和創造展「核とミサイルと読谷村」展示資料集』（読谷村教育委員会／令和4年11月）



図書室で閲覧
できます！

政信教育長のあじま～コラム



「体験学習」

本村教育委員会では「わんぱく体験団」として児童を対象に年6回、様々な体験学習を実施しています（いきもの探し、ムーニー作りなど）。また、生涯学習講座としても同じく年6回体験学習を実施しています（おもしろ科学教室、給食センターお仕事体験など）。その他に星空観察を年4回実施するなど、子供たちの体験学習を充実させています。さらに、今年で28回目を迎えた福島県西会津町との児童同士の交流「体験の翼」も去る2月9日～12日に無事終わりました。「体験の翼」においては、沖縄とは違った雪国の自然や食文化等に触れたり、違う環境で育った西会津町児童と交流したりするなど貴重な体験ができました。また、沖縄の伝統芸能のエイサーの披露をはじめ沖縄県や大宜味村のことを伝えることができました。このような多くの体験学習を通して子供たちは様々な力を身に付けてきたと思います。

さて、「1オンスの経験は1トンの理論にまさる」と喝破して、「為すことによって学ぶ」という体験学習の方式を提唱したのは、アメリカの教育学者デューイです。幼児教育は正しく「為すことによって学ぶ」連続です。自分の興味・関心のあるものを見つけ、夢中になる、その経験を通して小学校で必要な学習に向かう意欲や自ら学ぶ態度の基礎を身に付けています。対象（学習材）に夢中になる、やりかた（学習の方法）を自分で決める、それこそが教育の本質だと思っています。「教育の原点は体験が中心の幼児教育にあり」と言われている所以です。

体験学習では、教室での座学以上に、子ども一人一人が自己決定する場面が多くあります。また、仲間と共に学ぶ場も多くなります。自分自身で決め、失敗したらやり直すことも頻繁におこります。場合によっては道具の扱いなどで緊張する場合もあります。そういう意味でも体験学習は全身全霊をつかって挑戦する知的探究だともいえます。今後も体験学習を計画し実践していきたいと考えています。

今月の生きもの



撮影：村山望

ハグルマヤママユ：ヤママユガ科

こんばんは♪私ハグルマヤママユです。蛾です。
 蛾と聞いたら少し嫌なイメージを持つかもしれないけれど、黄色の翅に赤い目玉模様の私は沖縄っぽくてきれいじゃない？
 私たちは年に数回羽化し、3月に出てくる成虫が1年の中で一番早い。他の蛾と同じく光に集まる習性があるので、案外みんなの近くでも見られるかも。上の写真もコンビニの壁に止まっていたところを撮られたものなの。私たちのオスはくし形の触角があります（写真下）。この触角を使って雌のフェロモンをキャッチするの。顔のアップ見て気づいた？蛾もなかなか可愛いでしょ♪

3月の行事予定

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1日（金）県立高校卒業式 | 16日（土）（中）部活動対抗駅伝大会 |
| 4日（月）区長会 | 18日（月）小学校 卒業式 |
| 6日（水）県立高校入学試験 ～7日 | 19日（火）小中学校 修了式 離任式・PTSA 送別会 |
| 7日（木）（中）小6体験入学 | 20日（水）春分の日 |
| 9日（土）中学校 卒業式 | 28日（木）（園）修了式（0歳～4歳児） |
| 11日（月）（中）振替休日（3/9卒業式） | 定例教育委員会議 |
| 14日（木）県立高校合格発表 | 29日（金）退職者辞令交付式 |
| 15日（金）（園）修了式（5歳児） | |

3月31日



オーケストラの日